

④「今、ウクライナは中立の話ではなく、同盟国を必要としている」

2023年2月24日、ZAKHAR POPOVYCH

1年前、ロシアはウクライナへの積極的な全面侵攻を開始した。両国の何百万人もの人々がまだ受け入れるのが難しいイベントです。すでに何十万人もの人々が命を落としているにもかかわらず、ほとんどのロシア人はいまだに今起きていることから距離を置き、「正常」という幻想を維持しようとしている。

キエフとハリコフ、オデッサとドニプロの住民であるウクライナ人にとって、戦争は一瞬たりとも忘れることのできない恐ろしい現実となっています。Posleの編集集団ウクライナ全土からのロシア軍の即時撤退とロシア国内の政治体制の急進的な変化のみが、この進行中の犯罪を適切に終結させることができると確信している。明らかに、そのような変化は、ロシア社会がロシア国家がウクライナにもたらした途方もない苦しみを認識したときにのみ可能です。

ウクライナに対するロシアの侵略が始まってから1年後、私たち [Posle] は、ウクライナの左翼組織である Sotsyalnyi Rukh のメンバーである Zakhar Popovich とのインタビューを公開しています。



2月24日の前夜、ロシアがウクライナ社会にもたらした犯罪戦争の結果をどのように評価しますか？

— 即時の否定できない結果は、おそらく現代のロシアに関する大量のひらめきです。プーチン大統領は、彼との議論があり得ないことを私たちに証明しました。彼は、今日のロシアは冷笑的な帝国主義者の捕食者であり、その権力と影響力を維持するために何百万人もの人々を殺すことを躊躇せず、「兄弟民族」についてのすべての話は、この殺人と暴力を正当化するためだけにあると私たちに確信させました。

実際には、プーチン政権は、それが実際にテロ政権であり、破壊されなければならないことを証明しています。ウクライナ、ヨーロッパ、ロシアの安全保障と民主主義は、この政権の崩壊なくしてはあり得ません。実際、プーチニストは、権力を維持するために、仲間の市民を含む何百万人もの人々を殺すことを厭わない。彼らの目標は、社会の民主化を何としても阻止し、人々がどのように生きたいかを決定するのを止めることであるように思われる。

ウクライナ人が決して受け入れないのはまさにこの原則です。戒厳令下にあるにもかかわらず、ウクライナが権威主義的な独裁を完全に拒絶し続けることを願っています。これは、今日のロシアの侵略に抵抗するウクライナの愛国心と団結の基盤であると私は考えています。

ウクライナ人が決して受け入れないのはまさにこの原則です。戒厳令下にあるにもかかわらず、ウクライナが権威主義的な独裁を完全に拒絶し続けることを願っています。これは、今日のロシアの侵略に抵抗するウクライナの愛国心と団結の基盤であると私は考えています。

敵対行為の終結はすぐに可能だと思いますか？これが起こるために何が必要ですか？

— ロシアの侵略を終わらせることは、和平交渉の前提条件です。ロシアの空爆や攻勢が止まらないのなら、それを語ることにすら馬鹿げている。もちろん、公正で民主的な平和が必要です。平和についての公開討論と交渉が必要です。

しかし、ロシア軍が壊滅するまで、ロシア当局がこれらの交渉の必要性を認識する可能性は低い。もちろん、人々はどのように生きていかを決めなければなりません。それが、ロシア軍がウクライナ領土を去らなければならない理由です。国を離れることを余儀なくされた人々が帰国した後、平和的で民主的なプロセスを開始し、OSCE やその他の国際オブザーバーの監督の下で地方選挙や国民投票を行うことについて話すことができるようになるでしょう。

もしロシアが、ウクライナとクリミアのロシア占領地域に軍隊を撤退させ、国際平和維持軍を配備することについて議論する準備ができていれば、そのような交渉は理にかなっているだろう。そして、ロシア当局が軍隊の撤退を開始するのが早ければ早いほど、より多くの命が救われ、戦争の悲惨な結果は少なくなります。

今起こっていることよりも悪いことを想像するのは難しいですが、戦争の最も血なまぐさい部分はまだ来ていないようです。ロシア政府が今言っていることは、この政府と話すことは何もないことをウクライナ人にもう一度納得させるだけです。そして、戦争の結果がより悲惨なものになることはありません。今起こっていることよりも悪いことを想像するのは難しいですが、戦争の最も血なまぐさい部分はまだ来ていないようです。ロシア政府が今言っていることは、この政府と話すことは何もないことをウクライナ人にもう一度納得させるだけです。そして、戦争の結果がより悲惨なものになることはありません。

本格的な侵襲が始まってから、あなたの運動の活動はどのように変化しましたか？

— Sotsyalnyi Rukh [ウクライナ社会運動] は、我が国とともに変化してきました。左派間の複数の意見の不一致は取るに足らないものであることが明らかになりました。同時に、特にブチャの後、抽象的な平和主義、侵略者に対する完全に分散化された抵抗、ゲリラ戦への移行、犠牲者を避けるために侵略者に抵抗しないほうがよいかもしれないというわさについてのばかげた宗派の考えを容認することは不可能になりました。私たちはこの種の平和主義を受け入れず、侵略者に対する草の根だけの分散型の抵抗という考えは、現在の状況では有害であると考えています。ロシア連邦の軍隊によるウクライナの完全な占領を防ぐことができるのは、集中化されたウクライナ軍 (AFU) だけです。そして、国がゲリラ戦の混乱に陥るのを防ぐことができる限り、国レベルでの AFU の集中的かつ調整された取り組みを支援する必要があります。草の根の自己組織化の存在と民主的発展を保証するのは、ウクライナ国家とその民主的機関の維持である。

本格的な侵略が始まる前、私たちは単純に和平交渉のチャンスがあると信じていました。私たちは、完全な停戦、軍隊の撤退、国連平和維持代表団の導入を求めました。

2022 年 2 月 24 日、平和と正義への唯一の道はロシア軍の軍事的敗北によるものであることが明らかになり、今ではすべての努力を AFU が戦場で打ち負かすことを支援することに集中する必要があります。Sotsyalnyi Rukh は現在、ロシアの侵略に対する武力抵抗の直接支援と、社会正義と国内戦線の持続可能性の確保の両方に焦点を当てています。私たちの同志の多くは AFU で戦っており、私たちは彼らや他の活動家に必要な装備をできる限り支援しています。国内では、不謹慎な雇用主が不法に解雇したり、賃金を下げたりした場合に、労働者が労働者の権利を保護するのを支援します。私たちは、経済の規制緩和とウクライナ社会の分裂を目的としたネオリベラルで保守的な右翼の愚か者による有害な立法イニシアチブと闘い、しばしば成功を収めています。

戦争が始まって以来、Sotsialnyi Rukh はヨーロッパの左翼の間で意識向上キャンペーンを行ってきましたが、彼らは「敵」のキャンプ論理の餌食になったため、ロシアの侵略とその帝国主義的性質について冷静な評価に達することができませんでした。NATO は私たちの友人です。」左派の意見を変えることに成功しましたか？

— 残念なことに、ヨーロッパとアメリカの左翼はほぼ消滅したように見えることがあります。新しい左翼が徐々に出現することを期待していますが、当面の見通しはかなり否定的です。多くの西側左派の間で優越感と排外主義が横行する優越主義により、真の国際連帯の可能性はゼロに近い。それはウクライナ自身の問題でさえあるのではなく、他の国々の人々を、世界中の社会主義のために対等な者として一緒に戦う準備ができている対等なパートナーと見なすことを完全に嫌っているということです。多くのドイツの左派の考えでは、ウクライナ人だけでなく、東ヨーロッパのほとんどの国には何の代理店もありません。これらの人々は、大国の観点からのみ考えています。これらには、ロシア、米国、中国、ドイツ、フランス、英国、インド、およびブラジル（および他のいくつかの大きなプレーヤー。リストは異なる場合があります）。残りの数百の国と数十億の人々は、もっぱら帝国主義者間のゲームの対象として行動しています。典型的なドイツの左翼にとって、帝国主義の野心を持たない国は主観性を欠いている。彼らは、長く苦しんでいるパレスチナ人のように、同情と同情の対象になり得る。それでも、何かが自分に依存していて、自分に何が起こるかを自分で決めることができるという幻想を抱くべきではありません。これが、パレスチナ人とシリア人がしばしばドイツ人よりもウクライナで起こっていることをよりよく理解している理由です。そしてそれが、一部のドイツ人が、地球の表面から「3日」で消滅するはずだったウクライナに非常に腹を立てている理由です。

社会主義政治は、人々が自分たちの将来を自分たちで決めることができること、民主的で社会的に公正な世界が可能であること、そして人類の未来は帝国主義者間のバランスを維持することにあるのではなく、資本の帝国主義システム全体を克服することにあることを意味します。この克服は、すべての国のプロレタリアートが——帝国主義者だけでなく、特に周縁国と半周縁国の——団結し、国際社会主義運動を率いる場合にのみ可能となる。多くのドイツ（および西側）左派の現在の考え方とレトリックは、そのような同盟の余地をまったく残していません。もちろん、これはすべての人に当てはまるわけではありません。多くの人が何が起きているのかを理解しようとしています。そのため、ウクライナの労働者が何を考え、海外で同志にしたいのかを説明し続けています。同志たちはしばしば非友好的な聴衆の前で話さなければならず、ウクライナの人々の闘争を無視し、排外主義の恐ろしい例に直面しています。これはすべて精神的に疲れますが、私たちはできる限りの努力を続けており、このキャンペーンはまだ実を結ぶと確信しています。

ヨーロッパやアメリカの多くの国では、ウクライナとの連帯を求める社会主義キャンペーンがすでに行われている。これらの国の社会主義者とともに、私たちはウクライナへの支援を動員し、戦後の国際社会主義運動の復活に役立つことを願って連絡を取り合っています。

今年初め、ヨーロッパと米国は戦車やその他の武器をウクライナに送ることを決定しました。この動きをどう見えていますか？供給国内からの軍国化への批判や、再軍備や NATO の強化への懸念に対して、あなたはどのように対応していますか？

—もちろん、戦車の供給は、敵対行為の新たなエスカレーションに備えることを意味します。私たちはそれをよく知っています。残念ながら、ロシア軍が侵略を止めるまでは、エスカレーションに代わるものは、ロシアの侵略者による多かれ少なかれ急速なウクライナの破壊だけです。現在、ウクライナにとって、それは主に民間人の大量死を意味しています。ウクライナ人が自衛するための武器を持っていないと仮定します。その場合、ロシアの侵略者はすぐにこの状況を利用して、ブチャ、イズム、および他の場所で見たと同様の別の虐殺を実行します。現時点では、ウクライナへのあらゆる種類の武器の供給を支持し、防空システム、戦車、航空機、新しいタイプの軍事装備を使用するためにウクライナの兵士を訓練するためのより多くのサポート。私たちは、ロシアの猛攻撃に抵抗する前線の同志にとって不可欠な、弾薬供給の増加と加速を特に求めます。

ウクライナは、自国の領土外で軍隊を使用するつもりはないと繰り返し述べています。ウクライナに送られた武器は、ロシアや他の国の民間人を脅かすものではありません。これらの武器は、わが国の領土に侵入した武装した侵略者に対してのみ使用されます。申し訳ありませんが、ロシアをプーチンの犯罪政権から解放することは、AFU の仕事ではなく、ロシア人自身の仕事です。プーチンの侵略軍を打ち負かすことが、ロシア人がプーチン自身に対処するのに役立つことを願うばかりです。

私たちは NATO のファンではありません。このブロックは何度も悪い光を浴びてきましたが、今ではロシアの侵略に対する軍事援助を誰からでも受け入れる準備ができています。さらに、プーチン大統領の政策のおかげで、ウクライナ人の大多数は現在、NATO を加盟国が我が国の安全を潜在的に保証できる唯一の国際機関と見なしています。私は、ウクライナが強力な非同盟国であり続けることを望んでいます。それでも、直接的かつ差し迫ったロシアの軍事的脅威が排除され、東の国境にあるロシアの戦争機械が解体された場合にのみ、中立および非同盟の地位について話し始めることができます。ウクライナが今必要としているのは同盟国であり、中立の話ではありません。

ロシアの野党に対するあなたの評価は？ 1 年後の反戦運動の展望はありますか。

— 私は、ロシアの野党を注意深くフォローしているとは言えませんが、今では、より良い時代があったと言えます。ロシアでは、その効果のない軍事作戦と、ウクライナ人を十分に積極的に殺害していないことについてのみ、政権を公に批判することが可能であるように思われる。リベラルな反プーチン野党は、礼儀正しさと政治的正しさだけから排外主義的なスローガンを発するのではありません。少なくとも今のところ、彼らがロシアの帝国時代の過去を再考したか、近隣諸国に対する植民地時代の態度を克服したかは定かではありません。私の見解では、プーチン政権がウクライナで一斉に死に追いやろうとしているのは、最も貧しく、社会的に最も保護されていないロシア人であるため、プーチン政権の真の代替案は大規模な左派プロレタリア反対派になるだろう。いくつかの見積もりによると、200 以上、ウクライナでは、プーチン政権を維持するために、すでに 000 人のロシア兵が殺害され、不具になっている。普通のロシア人が、彼らの主な致命的な敵が誰であるかをすぐに理解し、プーチンと彼の手下を追い払う解決策を見つけることを願っています。彼らが早ければ早いほど、この戦争での死傷者は少なくなり、安定した公正な平和に近づくでしょう。残念ながら、これまでのところ、これは希望的観測にすぎず、プーチンを止めることができる唯一の現実の力と反戦運動は、ウクライナ軍です。